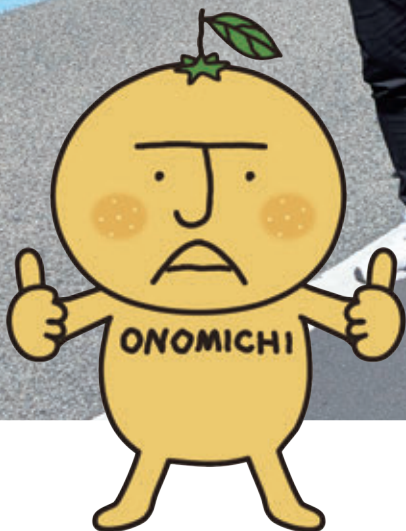




ええJAん!

あ*のみち



営農情報



詳しくはお近くの下記事業所までお問い合わせください。

- 東尾道営農センター ☎0848-56-1231
- 尾道北営農センター ☎0848-29-9611
- 向島営農センター ☎0848-44-2106
- 因島営農センター ☎0845-25-6161
- 世羅営農センター ☎0847-25-5029
- 浦崎支店 ☎0848-73-3311
- 御調支店 ☎0848-76-2242
- 世羅西支店 ☎0847-37-7100

水稲

南部地区の中生品種の田植え作業も終わり、北部地区の早生品種では中干しを開始する時期となりました。

本格的な梅雨シーズンの前に、生育状況の確認や今後の管理作業について確認をしておきましょう。

【病害虫防除】

本田での病害虫防除の第一段階として、田植え時に実施した箱処理剤の効果は、田植え後60日程度です。

効果が弱まる時期にいち病の感染拡大

大条件が重なるため注意が必要です。

ただし、第2段階の防除となる出穂前防除は、粉剤や液剤を利用する場合があります。散布日が天候に左右されます。時期を逸しないよう注意してください。

【中干し】

中干しの効果は『倒伏防止』、『根の健全な育成』、『無効分げつの抑制』等があります。表①を参考に、1㎡当たりの茎数350本を確保できたら実施してください。

中干しの期間は、圃場条件、天候等によって異なりますが、7〜10日間程度実施し、田面に少しヒビが入る程度まで行いましょう。

表①

植付間隔	1株当たりの分けつ 茎数の目安
幅30cm× 条間18cm	20本
幅30cm× 条間24cm	25本
幅30cm× 条間30cm	30本

また、この時期の高温多照は分げつ過剰を引き起こし、穂数及び粗数過剰によって品質低下を招くことがあります。

その場合は、中干し時期を早めることにより分げつの過剰発生を抑えます。

中干し後は、いきなり圃場に水を入ればなしにすると、根腐れを発生させ

る心配がありますのでかけ流しや浅水状態で管理し、間断灌漑を行い、根を水に慣れさせるようにしてください。

幼穂形成期〜出穂期には、水が最も必要な時期です。粗数の維持に努めましょう。

また、幼穂形成期(出穂の25日前)の葉色を確認しましょう。薄いようでしたら、一発肥料を使用した圃場においても追肥の要否判断をおこなってください。

【雑草防除】

イネは雑草の影響や害を長期にわたって受けます。水管理や除草剤の適期使用により、雑草の発生を抑制しましょう。

ポイントには、どの雑草においても『生育初期』が必ず存在するということです。早期に対処することで、被害拡大を抑えることが可能となります。発生が確認された場合は中後期除草剤を活用し、防除を実施してください。

【災害対策】

豪雨災害等による圃場の被害確認は、二次災害を招く恐れがありますので、まずは身の安全確保が最優先となります。安全が確認されてから圃場、水路等の点検作業を行ってください。

圃場に冠水の被害が発生した場合は、早急に排水に努め、1枚の葉でも早く水上に出すことで被害を軽減することができます。

また、水温の上昇抑制や濁水の排出の

ため、清水をかけ流しながら行うと効果的です。

冠水が激しかった圃場では、気孔や傷口から稲白葉枯病菌が侵入する可能性があります。発病した場合、最大40%の減収となる可能性もありますので注意が必要です。排水後、オリゼート粒剤(3〜4kg/10アール)を散布してください。

柑橘

6月は黒点病の重点防除時期です。ジマンガイセンの残効は累積降雨250mmもしくは30日です。防除とあわせて枯れ枝の除去を徹底しましょう。

【新梢の間引き】

本年度は新梢が多く発生し、薬剤がかりにくい状態の樹が多く見られます。マシン油散布前に新梢の間引きを行います。

【中晩柑類の荒もぎ摘果】

大玉果実生産には、荒もぎ摘果の時期と量が大切です。生理落果の終了する6月下旬頃から品種ごとの適正葉果比の8割を目安に摘果しましょう。また、摘果と兼ねてかぶさり枝や込み入った枝を間引きしましょう。

◆八朔・紅八朔葉果比80〜100枚に1果
荒もぎ摘果終了時に、大きい麦わら帽

摘果の目安

品 種	残す果実	落とす果実	葉果比	ポイント
ネーブル	5～6枚の総状有葉果の2番果	直花果、扁平果、へそ大果	80～100	裂果しやすい果実を摘果する
ハ 朝 夏 甘 夏	5～8枚の単生有葉果	直花果、裾なり、腰高果	80～100	ヤニ果に注意する
デコボン	5枚以上の単生有葉果	へそ大果、扁平果、遅れ花	100	主枝先端全摘果 6月に1発摘果
は る み		直花果、内なり果、キズ果	80	隔年結果是正は半樹摘果が有効
清 見		直花果、内なり果	80～100	摘果時に芽つみを実施
は る か		内なり果、裾なり、天なり	80～100	果実周辺のトゲ切り 天成り果実摘果
レ モ ン		傷 果	30	引っ付いた果実摘果

子の範囲に2～3個着果させます。

また、摘果時はハサミを使用して摘果しましょう。流れヤケ防止に枯れた果梗枝は摘み落としましょう。

◆しらぬひ(葉果比100枚に1果)

6月下旬に適正葉果比まで摘果し、大玉で酸の低い果実生産を行いましょ。樹勢維持のため、主枝先端は全摘果しましょう。

摘果の目安は、野球帽の範囲に1～2個着果させます。

◆はるみ(葉果比80枚に1果)
はるみは生理落果が少ない品種です。



▲単性有葉果(新芽の先に1個果実がついているもの)
中晩柑類(ネーブルを除く)は5枚～8枚の単性有葉果が品質果実になります

そのため適正着果量まで摘果できず、次年度不作になる園地が多くなっています。はるみが毎年生らない人は半樹摘果方法を取り入れましょ。方法は豊作年のはるみに対し樹の半分を全摘果します。着果させる側は葉果比80程度にします。

◆中晩柑類の薬剤摘果

果実の平均横径が20mm程度の時、ターム水溶剤1,000倍を散布することにより小玉だけを落果させることが出来ます。詳細は指導員にご相談ください。

【灌水】

中晩柑類は10日以上降雨が無い場合、10アール当たり20～30mmの灌水を実施しましょう。

みかんは満開後60日まではしっかりと灌水しましょ。満開60～100日の間は節水管理しましょ。

【夏肥の施用(2回目)】

果実肥大促進のため、梅雨が明ける前に施用しましょ。BB元気200を使用した園地では、夏肥の2回目は施用の必要はありません。極早生・早生みかんは施用しません。

【病害虫防除】

◆黒点病

黒点病防除剤のジマンダイセン水和剤は、累積降雨250mmもしくは散布後30日が再散布の目安です。早めの防除を心がけましょ。

◆ミカンハダニ

ハーベストオイルを葉裏にもかかるように丁寧に散布しましょ。ジマンダイセンを混用散布する場合は、乾きやすい日に散布しましょ。

◆ヤノネカイガラムシ

近年、ヤノネカイガラムシが増加傾向にあります。多発すると全滅が極めて困難になりますので、トランスフォームフロアブルで防除しましょ。



▲ヤノネカイガラムシ

◆レモンの花アザミウマの防除

6月から7月上旬頃に発生し、甚大な被害が出ることがあります。遅れ花をよ



▲レモンの遅れ花に飛来したアザミウマ



▲アザミウマ被害

く観察し多発の場合は、スピノエースフロアブル等で防除しましょ。

◆ゴマドラカミキリ対策

モスピラン顆粒水溶剤400倍を主幹から株元へ散布します。いじりは被害を受けやすいので注意しましょ。

◆ミカンナガタマムシ

柑橘の樹皮の割れ目などに産卵し、ふ化した幼虫が形成層の部分に沿って食害するため、多発すると健全な木も枯死します。成虫による葉の食害が目立つ場合は、6月中旬にアクセルフロアブルを散布しましょ。

ミカンナガタマムシ



▲成虫



▲成虫による葉の食害



▲幼虫

【八朝ヤニ果対策】

八朝のヤニ果は、ホウ素欠乏が原因と言われています。欠乏の原因は、乾燥や土壌PHが高過ぎるもしくは低過ぎるのが原因です。灌水や土壌管理を徹底しましょ。また、毎年発生が多い園ではマ

ルポロン800倍を6月と7月に葉面散布しましょう。



▲幼果期のヤニ果



▲収穫期のヤニ果

落葉果樹

ぶどう

【露地栽培】

◆房づくりと着果量調整

着果量(房)が多いと肥大不良・糖度不足・着色不良を招きやすくなります。2回目のジベレリン処理前までに摘粒・摘房を行ってください。

◆新梢管理

新梢は開花後一時的に弱くなり、結実後再び伸長を始め、果粒軟化期ごろに伸長を停止するのが理想的です。

開花前後から副梢が発生し始めますが、副梢は果実の成熟期には本葉よりもよく働きます。副梢は1〜2枚葉を残して摘みし、果実品質を向上させるために利用しましょう。

実止まり確認後の防除には、展着剤をいれると果粉が落ちるので使用を控えま

表-1 (房作りと収穫の目安)

品種	1房粒数	1粒重	1房重	1坪当たり房数	10a当たり房数	着色始めからの日数	糖度
デラウェア	100粒	1.4g	140g	35〜40房	12,000房	30日	18度以上
ベリー-A	70粒	6g以上	400〜500g	18〜20房	5,000房	40〜45日	17度以上
ピオーネ	30〜35粒	17g以上	500〜600g	10	2,500〜3,000房	45日	17度以上
シャインマスカット	35〜40粒	15g以上	550〜650g	12	3,000〜3,500房	45日	17度以上

しょう。

もも

収穫に際しては、果実の着色程度をよく確認して、適期の収穫を行います。収穫は、午前中の気温が低い時間に行い、置き場も果実温度が上がらないように注意しましょう。

収穫期に入っでの降雨は、果実品質低下を招くので、マルチ被覆、排水溝の整備をして園内の排水を良くしましょう。

◆注意する病害虫

シンクイムシ類、モモノゴマダラノメ

イガ、灰星病、黒星病、赤点病



▲シンクイムシ被害

いちじく

◆副梢の整理

摘みした後に副梢が発生します。副梢をそのままにしておくと、果実の着色不良や、肥大遅延を引き起こしますので、発生した副梢は、結果枝の先端1本を残し、2〜3枚で再度摘みを行います。その後再び発生する副梢は、随時かぎ取りましょう。

副梢の発生が多い樹(園地では)、剪定や肥培管理などを再検討する必要があります。

◆灌水

梅雨明け後の灌水は、いちじくにとって果実肥大や収量などに大きく影響します。梅雨明け後、乾燥した日が続くとき玉果やヤケ果、更には早期落葉などの原因となりますので、晴天が続くようであれば3〜5日おきに灌水を行います。

◆乾燥防止対策

梅雨にしっかり雨が降ると、いちじくの根も土壌表面に集中しています。梅雨

明け直前に、表層根の保護と乾燥防止のために、敷きわらなどの被覆資材を設置しましょう。

◆注意する病害虫

カミキリムシ類、アイノクイムシ、ハダニ類、さび病、そうか病、イチジクモンサビダニ、イチジクヒトリモドキ



▲ハダニ被害

なし

◆摘果

3果そうに1果の割合になるように摘果します。横向きか斜め上向き、果梗枝が太く長いものを残すようにしてください。主枝と垂主枝の先端部分の果実は、全部摘果してください。

◆灌水

なしは、灌水により玉太りが良くなりますので、しっかり灌水してください。

家庭菜園

6月、7月の気温は、平年に比べ高くなる見込みです。

また、本格的な梅雨入りを迎え、病害虫が発生しやすい時期にもなります。天気予報などを参考にして適切な管理を行いましょよう。

また、作業の時には水分補給をしつかり行いましょう。

【梅雨対策】

露地栽培の場合は畝や畑の周りに溝を掘り、排水を促しましょう。また、可能であれば藁やもみ殻を株元に敷くと、雨水による土の跳ね返りを防ぐことができます。そのため、病気の予防効果が期待できます。

【品種ごとの生育診断】

◆トマト

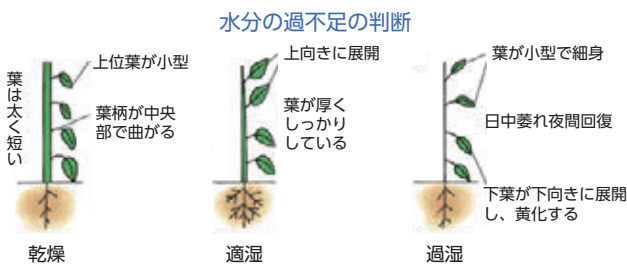
トマトは、茎の先端の葉で草勢判断が



葉は上に向いて細く、葉脈が紫変する。

葉面が水平になる。

葉面にでこぼこができ、葉はカールする。



水分の過不足の判断

上位葉が小型
葉柄が中央部で曲がる
葉は太く短い
乾燥

上向きに展開
葉が厚くしっかりしている
適湿

葉が小型で細身
日中萎れ夜間回復
下葉が下向きに展開し、黄化する
過湿

花が生長点の近くで咲く時や、花がほ

水分を与えましょう。

◆ピーマン

根が浅く乾燥しやすいので、こまめに水を与えましょう。花が生長点の近くで咲く時や、花がほとんど落ちてしまう場合は、肥料不足と判断します。実を若取りし、追肥と灌水をおこないましょう。

栄養が適度な場合は2〜3週間おきに、不足している場合はすぐに追肥を行います。

綺麗な実を作るには、適切な水管理が重要です。乾いたところに急に水が入ると実が割れ、水分が不足した状態が続くと実が太らず皮が固くなってしまいます。また、灌水不足は尻腐れ症の原因にもなりますので注意しましょう。

◆ナス

収穫期間が長いので、生り疲れさせないように、実が生り始めたならこまめに肥料と水を与えましょう。花の咲いている位置から生長点までの葉数で草勢を判断します。

◆スイカ

また、新しく咲いた花の柱頭が短い場合、樹勢が低下しているので追肥を施しましょう。

生育初期に肥料が多すぎると実が落ちてしまいます。

着果から2週間で果実は急速に大きくなります。この時期に水をたっぷり与えると大きなスイカになります。

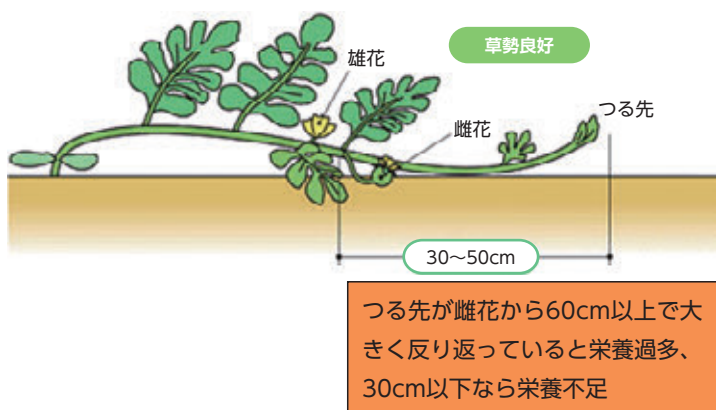
交配(着果)から収穫までの日数は、大玉スイカで45〜50日、小玉スイカで35日〜40日を目安とします。



花の上に葉が2枚
花柄が細く、花色が淡い
葉が1枚
不良

花の上に葉が4~5枚
要注意

良好



草勢良好

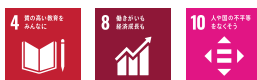
30~50cm

つる先が雌花から60cm以上で大きく反り返っていると栄養過多、30cm以下なら栄養不足

第83回 尾道みなと祭

JA

第24回ええじゃんSANSА・がり踊りコンテストに 「JAええじゃん元気隊」として出場!



4月25日(土)、26日(日)の2日間、尾道市内で第83回尾道みなと祭のイベントの1つである「第24回ええじゃんSANSА・がり踊り」コンテストが開催されました。



個人賞を受賞した職員

今年は、尾道市内の39チーム約1,800人が出場し、JA尾道市は第1回より24回連続で出場しており、カジュアル部門で「JAええじゃん元気隊」として若手職員30名が参加しました。

祭は2日間で約20万人が来場し、出場した元気隊の職員は、JA尾道市をPRする衣装でコンテストを盛り上げました。

個人賞を受賞した職員は「このたび、コンテストで2度目の個人賞をいただき、大変うれしく思います。温かいご声援をいただき、元気に楽しく踊ることができました。踊りを通じて地域を盛り上げ、尾道の元気につながるようにこれからも参加していきたいです。」と笑顔で話しました。



いよいよスタートです!



笑顔いっぱいです。



元気に踊りました。



踊り手全員で記念撮影

がんこちゃん
の



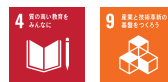
取材日記

地域で開催されたイベントやSDGsを含めたさまざまな話題をご紹介します!





JA



小型車両系建設機械の特別教習開催



建設機械の操作方法を学ぶ受講生

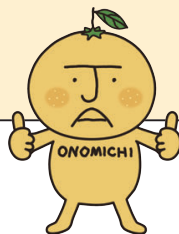
4月15日(水)と16日(木)、山波で小型車両系建設機械の特別教習を開催し、管内の生産者14人が受講しました。

この取り組みは優良品種への改植や圃場整備などの省力化に繋げる目的で開催しました。

15日は、機械の基礎知識や施工知識、法令など、座学形式で講習を行いました。16日は、実際に機械に乗り、整地、堀削、埋戻など操縦を学びました。



JA



桃の摘果講習会開催

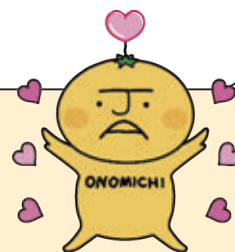


摘果作業を実演する技師

5月11日(月)、管内生産者園地で桃の摘果講習会を開催し、部会員9人が参加しました。

講習会では、例年との比較や今後の気象予想を説明し、摘果の目的や基準、管理などを説明しました。

実技講習では、実際の樹を使用して果実の見極め方や枝ごとの着果バランス、作業時の注意点などを具体的に説明しながら、摘果方法を実演しました。参加者は講師の説明を聞きながら熱心に確認していました。



理事会 だより

開催日
令和8年6月4日(木)

審議事項

- 第1号議案 令和7年度決算について
- 第2号議案 令和7年度剰余金処分案について
- 第3号議案 自己改革工程表(案)について
- 第4号議案 第60回通常総代会の開催並びに総代会資料について
- 第5号議案 広島県への令和7年度業務報告書提出について
- 第6号議案 農産物直売所の販売手数料の改定について
- 第7号議案 令和8年度夏期賞与の支給について

※理事会議事録は、各支店に備え置きしております。



あなたの**こころ**が少しでも軽くなりますように

ふれあいサロン

当院では、患者さん及びご家族の方が、がんについての悩みや不安、辛さを一人で悩むことなく、患者同士の語り合いや、がんに関する正しい情報を得る場として、がんサロンを開催しています。

- 会場** 1階会議室（医療福祉支援センター奥）
- 日時** 毎月第**1**火曜日 14：00～15：00
- 内容** ●前半：役に立つお話し ●後半：フリータイム
- 対象者** がん患者本人とそのご家族

申込不要
参加無料

2026年度 年間計画

 <p>担当 緩和ケアセンター 緩和ケア認定看護師 テーマ 緩和ケア</p>	 <p>テーマ 祝日のためお休み</p>
 <p>担当 医療福祉支援センター 社会福祉士 テーマ 治療と社会制度について</p>	 <p>テーマ おはなし会 ～あなたの気持ちを話してみませんか？～</p>
 <p>担当 医療福祉支援センター 社会福祉士 テーマ 治療と仕事の両立支援</p>	 <p>担当 リハビリテーション科 理学療法士 テーマ フレイル予防</p>
 <p>担当 歯科口腔外科 歯科衛生士 テーマ がんと口腔ケア</p>	 <p>テーマ 祝日のためお休み</p>
 <p>担当 ★資生堂 テーマ アピアランスケア（外見ケア）</p>	 <p>担当 薬剤部 薬剤師 テーマ がんのお薬</p>
 <p>担当 栄養科 管理栄養士 テーマ お食事について</p>	 <p>担当 ★臨床美術士 テーマ 臨床美術</p>

★印は院外講師です

問合せ先



TEL：0848-22-8111（代表）※受付：9時～17時（土日祝は除く）
担当：医療福祉支援センター